

その他(1)

令和4年9月県議会における主な質問・答弁等について

このことについて、別紙のとおり報告する。

令和4年10月28日
新潟県教育委員会教育長
佐野 哲郎

1 新しい研修制度について

(総務課・義務教育課・高等学校教育課)

1 質問・答弁内容

(1) 新しい研修制度について

… 齋京議員（自民・一般）、小島（晋）議員（自民・一般）

【質問】 教員免許更新制廃止に伴い制度化された新しい研修制度について、教員の多忙化が進むことなく充実させるために、どのように対応するのか。

【答弁】 新しい研修制度については、教員の多忙化にも配慮し、進めることが重要と認識している。

そのため、研修報告や記録内容の簡素化やオンライン研修の充実など、効率かつ効果的な研修となるように検討を進めたいと考える。また、学校の働き方改革の継続した取組などにより、研修時間の確保に努めたい。

(2) 新しい研修制度における確認テストについて

… 小島（晋）議員（自民・一般）、長部議員（自民・総文）

【質問】 新しい研修制度における研修成果の確認テストについては、教員の過度な負担になると感じるが、認識を伺う。

【答弁】 研修で得た内容を職務に生かし、児童生徒に還元することが重要である。そのため、テストやレポート等により、研修内容を理解できたかを自ら確認することは、研修効果を高めるうえで、必要なプロセスである。レポート提出については、過度な負担とならないように留意したい。

2 今後の対応・方針等

新たな研修制度については、教員の多忙化の課題に十分留意し、教員にとって必要な資質能力の向上につながる研修となるよう、令和5年4月実施に向けて、検討を進めている。

2 デジタル教科書について

(義務教育課)

1 質問・答弁内容

(1) デジタル教科書について … 横尾議員 (自民・代表)

【質問】文部科学省は、2024年から小中学校の「英語」でデジタル教科書を導入する予定である。デジタル教科書のメリット・デメリット等を踏まえ、どのようにデジタル教科書を使った授業を進めていこうと考えているのか教育長の所見を伺う。

【答弁】デジタル教科書は、児童生徒が拡大表示や書き込み保存、音声や動画の再生等の機能を活用して、個々の課題に対応しながら理解を深められること等が利点である一方、教員のデジタル教科書を活用した指導力の向上や児童生徒の健康面への配慮等が課題であると考えている。

教員の活用スキルの向上を図り、紙の教科書や教材、学習支援ソフト等を適切に組み合わせることで、個別最適な学びと協働的な学びを充実させるよう努めていく。

(2) 教員の活用スキル向上に向けた取組について … 皆川委員 (自民・総文)

【質問】デジタル教科書を効果的に使うためには、何よりも教員の指導力が重要になってくる。教員の活用スキルの向上をどう図っていくか伺う。

【答弁】教員の活用スキルの向上のため、教科教育専門監研修受講者等によるデジタル教科書を活用した授業公開を継続的に行うとともに、デジタル教科書を活用した先行事例等を、教育支援システム等を通じて提供する等、教員のデジタル教科書を活用した授業づくりを支援していく。

2 今後の対応・方針等

デジタル教科書の活用を進めていくため、市町村教育委員会の担当者と構成するICT環境整備推進協議会において、デジタル教科書を含めたICTの活用に関する課題を協議する場を設けたり、文部科学省の担当者から直接指導を受ける場を設定する等、活用に関する課題解決に取り組んでいく。

また、教育支援システムにおいて、デジタル教科書の活用に向けた環境づくりや正しい使い方の指導に関わる資料等についても積極的に情報提供を図り、デジタル教科書の利活用に向けた取組を支援していく。

3 校則の見直しについて

(生徒指導課)

1 質問・答弁内容

(1) 校則の見直しについて… 横尾議員（自民・代表）、皆川委員（自民・総文）

【質問】「生徒指導提要」の改訂案では、校則について学校ホームページでの公開や見直しを促すなど、教育委員会として前向きな検討が求められていると考えるが、所見を伺う。

【答弁】昨年6月の校則見直しに関する国の通知を受け、県内の77%の学校が校則を見直す機会を設けたものの、校則をホームページに公開している学校は5%に留まっている。

こうした現状と、改訂後の生徒指導提要の趣旨を踏まえ、校則の積極的な公開や、絶えず積極的に見直しを行うことに加え、見直しを行う際には、児童生徒の自主性・自律性を育むために、児童生徒自身が、その過程に参画する機会を設定するなど、引き続き、学校に働きかけていく。

(2) 校則の見直しの進展により期待される効果 … 皆川委員（自民・総文）

【質問】児童生徒が校則を考える機会を設けるなど、校則の見直しの動きが広がることによって、教育面での効果も期待されると考えるが、所見を伺う。

【答弁】校則の見直しの過程に児童生徒自身が参画することは、校則の意義を理解し、自ら校則を守ろうとする意識を高める効果があると考えます。

児童生徒自身が校則の意味や内容について理解をして学校生活を送ったり、議論を通して他者の意見を尊重したりして、身近な課題を自ら解決する姿勢を身に付けることが期待される。

2 今後の対応・方針等

今後も継続して、県立学校及び市町村立教育委員会に対し、児童生徒が参画した校則の見直し、ホームページにおける校則の積極的な公開を働きかける。

また、学校に対し進捗状況等の確認を行い、各種研修会を通じて周知と徹底を図る。